

## 為替予測実践の最前線

野村證券 田中 泰輔

### 【ポイント】

- ・投資あるいはビジネスの実践上有意味な予測は収益パフォーマンスによって評価される。
- ・その意味で、思考としての予測と、行動対応としての予測は、峻別される。
- ・行動対応としての予測において重視されるのは時間認識（時間軸、タイミング）。
- ・為替相場には、需給調整メカニズムとしての側面と人的予測に基づく側面がある。
- ・エコノミストや金融機関、市場参加者一般の予測行動の性向は類型化される。
- ・こうした人的予測を予測することは重要な収益の源泉となる。

### 【主な構成内容】

#### 1 為替相場の時間別階層

- ・為替相場には美しいロジックが貫徹されている。
- ・それを為替変動の時間軸別要因を超長期、長期、中期、短期に分けて整理する。
- ・相場予測の誤解事例：変動要因の巡り合わせ、顕在性の高いニュースの攪乱、など。
- ・長期循環変動と中期金融現象としての変動が交わる美しい為替変動の世界へご案内。

#### 2 思考としての予測 対 行動対応としての予測

- ・カリスマトレーダーは何がカリスマか。
- ・マーケットエコノミストに見る成長段階別、情報格差別の予測作成パターン。
- ・為替ハウスの予測作成パターンをグローバル金融機関、本邦銀行・証券会社別に見る。
- ・人的予測の「予定調和」のパターンを予測する。

以上